



美しき漆

日本と朝鮮の漆工芸

2023年

4月13日(木) - 6月18日(日)

[写真] 上・漆絵箔置柏文秀衡椀 桃山~江戸時代 17世紀 83×13.3cm / 下・螺鈿花鳥文箱 朝鮮時代 17世紀 33.0×33.0×10.6cm
□10:00-17:00(入館は16:30まで) □月曜休館(祝日の場合は開館し、翌日休館) □一般1,200円 大高生700円 中小生200円

日本民藝館



当館が所蔵する日本の漆工芸には、創設者・柳宗悦（1889-1961）が好んだ「漆絵」が施されたものが多く見られます。中でも現在の岩手県を中心とする南部地方で生れた「秀衡碗」や「浄法寺碗」と称される碗類は白眉と言えましょう。またアイヌ民族の使用品や琉球漆器、寺社の什器、民間の慶事に重用されたものなど、漆器の種類は多岐に渡ります。一方、陶磁器の蒐集でよく知られる柳の朝鮮工芸への眼差しは、漆工芸の美も確かに捉えています。アジア各地で作られ、朝鮮半島では高麗時代から発達した「螺鈿」。花や鳥などが貝片によって象られており、光を受けて輝く様には気品があります。朝鮮の漆工芸では、宮中で用いられた品から民衆の日用品まで、幅広い層の生活を彩った品々が認められます。

本展では、日本・朝鮮両国の優品に加えて、黒田辰秋（1904-1982）や丸山太郎（1909-1985）ら漆工芸作家の作品も紹介します。日本民藝館の漆工芸コレクションの特色である、無垢で健やかな美を持つ、鮮やかな漆の世界をお楽しみ下さい。



1. 漆絵相撲図盆 江戸時代 37.0×4.5cm
2. 紙縫卍文八角膳 朝鮮時代 19世紀 15×35.4cm
3. 漆絵蓬萊文碗 江戸時代 17世紀 9.0×14.3cm
4. 密陀絵花鳥文白粉入 朝鮮時代 19世紀 12.4×11.2cm
5. 漆絵粟文瓶子 室町時代 16世紀 36.5×24.0cm
6. 朱塗箱 朝鮮時代 19世紀 29.2×21.8×21.8cm
7. 卵殻貼箱 丸山太郎 1958年 11.3×13.3×10.2cm
8. 溜漆樺大平碗 黒田辰秋 1964年頃 11.2×14.6cm

□10:00-17:00（入館は16:30まで） □月曜休館（祝日の場合は開館し、翌日休館） □一般 1,200円
大高生 700円 中小生 200円 □西館公開日（旧柳宗悦邸）・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、
第3土曜（開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで）※変更が生じる場合がございます □〒153-0041
東京都目黒区駒場4-3-33 □TEL.03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<https://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

次回展覧会 聖像・仏像・彫像 柳宗悦が見た「彫刻」 6月29日(木)～9月3日(日)

